

# 米づくり情報 第3号

令和2年7月16日

平坦部(佐賀県農業試験研究センター)

## 本年産水稻の生育状況(7月16日)

移植日	項目		草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	葉齢 L	概況 (平年と比較して)
	年次	品種				
6月18日	夢しずく	本年	45.2	231	8.4	<b>【気象】</b> 7月9日～7月15日の気象を平年値と比較すると、平均気温は、2.2℃低く、降水量は303%と多く、日照時間は10%と短かった。 <b>【生育】</b> <b>【草丈】</b> 「夢しずく」は高い。その他の3品種ではやや高い。 <b>【茎数】</b> すべての品種で少ない。 <b>【葉齢】</b> 「夢しずく」、「ヒノヒカリ」、「さがびより」ではやや遅れている。「ヒヨクモチ」では遅れている。
		平年(※)	42.3	335	8.8	
		平年比(差)	107	69	-0.4	
	ヒノヒカリ	本年	39.6	269	8.8	
平年(※)		37.6	418	9.1		
平年比(差)		105	64	-0.3		
6月19日	さがびより	本年	39.1	227	8.8	
		平年(※)	37.8	358	9.0	
		平年比(差)	103	63	-0.2	
	ヒヨクモチ	本年	35.0	344	8.9	
平年(※)		34.2	556	9.5		
平年比(差)		102	62	-0.6		
留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 茎数の少ない圃場では浅水管理を行い、分けつの促進に努める。</li> <li>○ 必要な茎数が確保できた圃場においては、中干しを実施する。「夢しずく」は、7月第5半旬～第6半旬に幼穂形成期となるため、それまでに中干しを終了する。</li> <li>○ また、茎数の少ない圃場では、強い中干しは控える。</li> <li>○ トビイロウンカおよびコブノメイガの発生に注意する。</li> </ul>					

注)・「夢しずく」、「ヒノヒカリ」は、6月18日移植の稚苗(播種期5/25、播種量 湿粳 180g/箱)  
 「さがびより」、「ヒヨクモチ」は、6月19日移植の稚苗(播種期5/26 播種量 湿粳 180g/箱)  
 ・栽植密度: 「夢しずく」は、条間30cm×株間17cm、19.6株/m<sup>2</sup>(65株/坪)  
 「さがびより」は、条間30cm×株間20cm、16.7株/m<sup>2</sup>(55株/坪)  
 「ヒノヒカリ」「ヒヨクモチ」は、条間30cm×株間15cm、22.2株/m<sup>2</sup>(73株/坪)  
 ・栽培管理: 施肥法は県基準に準じ、防除他はセンターの慣行による。  
 ・概況欄の生育の平年値との比較については、以下のように定義している。  
 低い(少ない、遅れている): 94以下、やや低い(やや少ない、やや遅れている): 95～98、平年並み: 99～101、やや高い(やや多い、やや進んでいる): 102～105、高い(多い、進んでいる): 106以上  
 ※平年値は、過去7カ年(平成25～令和元年)の数値を7月16日に換算し、その内最高と最低を除いた5カ年の平均値。

### 【窒素の時期別施用量(N kg/10a)】

品種	基肥	中追	穂肥Ⅰ	穂肥Ⅱ	実肥
夢しずく	3.0	0.0	2.0	—	—
ヒノヒカリ	4.0	2.0(7/10)	3.0	—	—
さがびより	5.0	0.0	2.0	—	—
ヒヨクモチ	4.0	3.0(7/13)	4.0	1.5	1.5

・かっこ内の日付は農試作況ほ場における施用日

# 令和2年産 稲作期間気象図

## アメダス観測値(佐賀)

農業試験研究センター  
作物栽培研究担当

